

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】国語・現代の国語	単位数	2 単位	履修年次	1 年
目 標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
使用教材	<p>【教科書】新編 現代の国語（数研出版）</p> <p>【副教材】国語辞典第十一版（旺文社）、新常用漢字必携パーフェクトクリア（尚文出版）</p>				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<p>実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。</p>		
評価方法	<p>目標をふまえ、「主体的に学習に取り組む態度」は、日々の授業への取り組みを中心に、「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査や基礎力診断テストを中心に、提出物の状況や小テストへの取り組み等、授業に取り組む姿勢や態度も含め、総合的に評価する。</p>				
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			
1 学期	<p>目指す世界の地図を作る 水の東西</p> <p>適切に話す・聞く スピーチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を集めることの大切さに気づく。 ・対比を読み取り、書き手の意図をつかむ。 ・叙述をとらえ、要旨を把握する。 ・情報を集め、相手に伝えたいことを検討する。 ・考えを明確にし、話す構成を工夫する。 ・聞き取った内容を評価・整理する。 			
2 学期	<p>世間話はなぜするか コインは円形か 里山物語</p> <p>写真を文章で説明する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉は情報を伝達するだけでなく、関係性を確認する働きがあることを理解する。 ・読むこと、書くことにおいて理解しておきたいレトリックについて理解する。 ・文章の構成や展開、また、説明や表現のしかたを工夫し、相手に伝わりやすい文章を考える。 			
3 学期	<p>科学と非科学 「わらしべ長者」の経済学</p> <p>課題を発見して解決策を発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の考えを比較することで、「非科学的な態度」とは何かを考える。 ・「わらしべ長者」の昔話を用いて、経済学の基本原則を理解する。 ・SDG sについて書かれた文章を要約し、SDG sについて理解し、身近な生活の中から、課題と解決策を考え、発表する。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の準備をしっかりとってください。 ・課題は期日を守って提出してください。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】国語・言語文化	単位数 2 単位	履修年次 1 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化に対する理解を深める。 ・ 考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 ・ 言語の価値への認識を深め、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。 		
使用教材	【教科書】新編言語文化(数研出版) 【副教材】国語辞典第十一版(旺文社)、マナトレ (ベネッセ)		
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	必要な国語の知識を身に付け適切に使うことができ、日本の言語文化に親しんだり理解したりしている。	筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりすることができる。自分の思いや考えを伝え合うことができている。	自分の思いや考えを言語化でき、その価値に気付こうとしている。進んで読書し、言葉を適切に使おうとしている。
評価方法	目標を踏まえ、「主体的に学習に取り組む態度」は、日々の授業への取り組みを中心に、「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査や基礎力診断テストを中心に、提出物の状況や小テストへの取り組み等、授業に取り組む姿勢や態度も含め、総合的に評価する。		
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	
1 学期	言語文化と漢文 訓読のきまり、格言 羅生門 短歌	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓読のきまり、古典特有の表現等について理解する。 ・ 内容や構成、展開などについての的確に捉える。 ・ 入門的な短編を通して、内容や展開を的確に捉えることを学ぶ。 ・ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について深める。 ・ 短歌の形式を理解し、その代表的作品を読み味わう。 ・ 短歌に特徴的な表現の技法を理解し、語感を磨く。 	
2 学期	言語文化と古文 古文に親しもう 宇治拾遺物語 児のそら寝 古文の学習、古典文法 言語文化と近現代 とんかつ 舟を編む 俳句	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的仮名遣いの読み方や文語のきまりを理解し、古文に親しむ。 ・ 内容や展開などについて叙述を基に的確に捉え、説話のおもしろさを味わう。 ・ 俳句の形式を理解し、その代表的作品を読み味わう。 ・ 俳句に特徴的な表現の技法を理解し、語感を磨く。 	
3 学期	側転と三夏 故事成語を学ぶ 助長、漁夫の利、虎の威を借る狐 中国の漢詩 春暁、登鶴鶴楼、江雪、涼州詞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容や構成、展開などについての的確に捉える。 ・ 表現の仕方、特色をつかみ、自分のものの見方・考え方、感じ方を深める。 ・ 短い漢文を読み、内容を的確に読み取る。 ・ 故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを、理解する。 ・ 漢詩のきまりと表現の特色について学び、漢詩の世界に親しむ。 ・ 描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩を読み味わう。 	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の準備をしっかりとしてください。 ・ 課題は期日を守って提出してください。 		

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】 公民・公共	単位数	2 単位	履修年次	1 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける ・諸課題の課題に向けて、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論する力を身に付ける。 ・よりより社会の実現のために諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 				
使用教材	【教科書】 高等学校 公共 これからの社会について考える (数研出版) 【副教材】 高等学校 公共 整理ノート (数研出版)				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、および倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解していると同時に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家および社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
評価方法	目標をふまえ、すべての観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について日々の学習活動を基本として評価を行う。単元ごとに授業内容に対する理解度を確認しながら意見交流等を行い、意欲的に学習に取り組んでいるか、興味関心を持つことが出来ているかを評価する。また定期考査、小テストの点数やレポート、授業ノート、整理ノート等の提出物の状況などもふまえて総合的に判断し評価する。				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	公共的な空間をつくる私たち ・生活のなかの公共 第1章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 ・西洋近現代の思想 第2章 公共的な空間における基本原理 ・民主社会の基本原理		<ul style="list-style-type: none"> ・自己形成の課題について考察し、自らを成長させる生き方について考える。 ・先哲の思想や生き方を理解し、公共的な空間をつくるために、私たち自身がどのような行動をすべきかの考察を深める。 ・民主主義や権利や責任について理解し、民主的な政治と自らの生活が結びついていることを理解する。 		
2 学期	・日本社会の基本原理 第3章 ルールをつくり守る私たち ・法と契約 ・司法参加の意義 第4章 政治に参加する私たち ・政治参加と民主政治の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法で保障されている権利を理解し、自らの生き方と権利を結びつけることができる。 ・日本国憲法と公共的な空間における基本原理との関連について考察する。 ・法や規範の意義を理解し、司法に関心を持つ。 ・民主政治を支える制度を理解し、主権者としての自覚を持つことができる。 		
3 学期	第5章 経済活動を行う私たち ・経済のしくみと産業の変化 ・市場のしくみと金融 ・財政と社会保障 ・国際経済、政治の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済のメカニズムを理解し、豊かさについて自分なりに判断する力を身に付ける。 ・財政の役割や社会保障について理解し、租税と社会保障のバランスについて考察し、日本経済の課題と解決について考える。 ・国際経済や国際政治の課題について学び、グローバル化と日本に及ぼす影響について考える。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちを取り巻く様々な社会問題に興味関心を持ち日々の学習に意欲的に取り組んでください。 ・与えられた課題は、期日を守り必ず提出してください。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	数学・数学 I	単位数	4	単位		履修年次	1	年	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四則計算, 式の展開, 因数分解, 平方根の計算, 不等式の計算ができる。 ・ 集合の考え方を理解し, 命題の真偽が判断できる。 ・ 2次関数のグラフの描き方, 2次方程式の解法を理解できる。 ・ 30°, 45°, 60° の三角比を理解し, それらの概念や定理を活用することができる。 ・ 表や平均値・最頻値・中央値を利用し, データを処理することができる。 								
使用教材	<p>【教科書】新編 数学 I (啓林館)</p> <p>【副教材】アベレージ数学 I (啓林館), Libry (中高生向けデジタル教材プラットフォーム)</p>								
評価の観点 ・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
	数学的活動を通して, 方程式, 不等式, 二次関数及び図形の計量, データの分析における基本的な記号や用語, 概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学的に解釈・表現・処理する技能を身に付けている。	方程式, 不等式, 二次関数, 図形の計量, データの分析を通して, 事象を論理的に考察する力, 数学を活用することで事象の本質を理解し, ほかの事象との関係を認識し, 統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	方程式, 不等式, 二次関数, 図形の計量, データの分析を通して, 数学のよさを認識し, 積極的に数学を活用しようとする態度, 数学的論拠に基づいて論理的に判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度を身に付けている。						
評価方法	「知識・技能」については, 定期考査の基本問題や到達度テストを総合的に判断し評価する。「思考・判断・表現」については, 定期考査における発展的な内容の問題やレポート課題の内容などを総合的に判断し評価する。「主体的に学習に取り組む態度」については, 授業に取り組む態度や発表などによる評価と, 提出物などの内容を総合的に判断し評価する。								
学 期	学 習 内 容				学 習 の ね ら い				
1 学期	数と式 ・ 整式とその加減 ・ 整式の乗法 ・ 因数分解 ・ 実数 ・ 平方根 ・ 1次不等式の解き方 集合と命題 ・ 集合 ・ 命題と集合 ・ 論証				・ 中学の時に学習した基本的な計算の内容をしっかりと復習しつつ, 高校における数式処理の基本である展開・因数分解の解法を確認し, 自由に使えるようにする。 ・ 数のしくみを学習し, 有理数や無理数, 特に平方根を含む式の計算を身につける。 ・ 1次不等式の解法を確認し, 数直線との対応を用いて連立不等式の解法を学習する。 ・ 集合と命題に関する基本的な概念を理解し, 集合の考えを用いて論理的に考察し, 簡単な命題を証明できるようにする。				
2 学期	2次関数 ・ 関数 ・ 2次関数のグラフ ・ 2次関数の決定 ・ 2次関数の最大・最小 ・ 2次方程式 ・ 2次関数のグラフと x 軸との共有点 ・ 2次不等式とその解				・ 関数の概念, 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解し, 2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。 ・ 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係, および2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し, グラフを用いて2次不等式の解を求める力をつける。				

<p>3 学期</p>	<p>図形と計量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三角比の値 ・ 鋭角の三角比の相互関係 ・ $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の三角比 ・ 鈍角の三角比の相互関係 ・ 正弦定理 ・ 余弦定理 ・ 図形の計量 <p>データの分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 度数分布表とヒストグラム ・ データにおける代表値 ・ 5 数要約と箱ひげ図 ・ 分散と標準偏差 ・ データの相関 ・ 相関係数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋭角の三角比の意味と相互関係を身に着け、その概念を鈍角の三角比へ拡張する意義を理解し、鋭角の三角比を用いて鈍角の三角比を求める方法を習得する。 ・ 正弦定理や余弦定理を理解し、三角形の辺の長さや核の大きさなどを求めることができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 分散、標準偏差、散布図および相関係数の意味やその使い方を理解する。 ・ データの散らばり具合や傾向を数値化する方法に触れ、目的に応じてデータを収集し適切な統計方法を選択して、データの傾向を把握する力を養成する。
<p>学 習 上 の 留 意 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にすること。 ・ 与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出すること。 ・ 分からないところは、そのままにせず必ず質問すること。 	

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【【必】理科・科学と人間生活	単位数	2 単位	履修年次	1 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や科学技術と人間生活との関わりについて理解を深め、観察や実験などに関する技能を身につける。 ・観察、実験を通して、科学的に探究する力を身につける。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 				
使用教材	【教科書】 科学と人間生活 (数研出版) 【副教材】 科学と人間生活サポートノート (数研出版)				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についての観察、実験を通して、自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについて理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察 ・実験に関する技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りで生じる自然現象などについて、課題を見出すことができる。 ・実験や観察で得られた結果について、自分なりに考察し、科学的に探究することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な見方や考察力を養おうとし、科学技術に主体的に関わりようとしている。 		
評価方法	目標を踏まえ、定期考査などの各種テストや日々の授業への取り組み、また実験や調べ学習に対する取り組む姿勢、提出物の状況や小テストへの取り組み等を総合的に判断して評価する。				
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			
1 学期	序編 科学技術の発展 第 1 編 物質の科学 1 章 材料とその利用 2 章 衣料と食品	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発展に伴って、今日の人間生活がどのように変化してきたかについて学ぶ。 ・生活を支える金属およびプラスチックの性質や利用例などについて理解する。 ・衣料の材料や食品の主成分の特徴を知り、日常生活と関連づけて理解する。 			
2 学期	第 2 編 生命の科学 1 章 ヒトの生命現象 2 章 微生物とその利用 第 3 編 光や熱の科学 1 章 光の性質とその利用 2 章 熱の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの生命現象を支える遺伝子や血糖値の調節や免疫の仕組みについて学ぶ。 ・微生物発見の歴史や病原性微生物について理解し、科学的な利用と環境との関わりについて考察する。 ・身のまわりの光に関する事象に関心を抱き、反射・屈折のしくみを物理的視点で理解する。 ・身近な熱現象に関心を抱き、温度と熱運動について理解する。 			
3 学期	第 4 編 地球や宇宙の科学 1 章 太陽と地球 2 章 自然景観と自然災害 終編 これからの科学と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島周辺の高気圧分布や季節風の季節ごとの変化と四季の気候の特徴を学び、集中豪雨や台風による災害について考える。 ・太陽の天体としての特徴を理解し、季節変化とも関連づけて学ぶ。 ・地球の内部構造について学び、地球表層を動くプレートによって、地形の起伏がつくられていることを理解する。 ・地震や火山噴火のしくみや特徴を知る。 ・土砂災害の種類、地形との関係について学ぶ。また、ハザードマップの読み取り方を理解し、防災について考える。 ・テーマ設定や予備実験、仮説や実験計画、実験方法など課題研究をとおして様々な科学的思考の方法について学ぶ。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で生じる科学現象に興味関心を持ち、実験や観察に対しても意欲的に取り組みましょう。 ・提出物などの課題は、必ず期日を守って提出してください。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】保健体育・体育	単位数	3 単位	履修年次	1 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高める。 ・自己の状況に応じて、体力の向上を図ることができるようになる。 ・公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身につける。 				
使用教材	【教科書】新高等保健体育(大修館) 【副教材】最新スポーツルール(大修館)・新高等保健体育ノート(大修館)				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身につけている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身につけている。		
評価方法	授業への取り組み方を「学びに向かう力・人間性等」、学習内容を高めるための工夫を「思考力・判断力・表現力」、運動の実技試験や授業中での技術発揮(運動)の様子を「知識・技能」「表現力」として評価をし、それらを総合的に評価する。				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	体づくり運動 ・集団行動 ・新体力テスト 体育理論 ・スポーツの歴史 選択 A ・器械運動(マット運動) ・陸上競技 (ハードル、高跳び、幅跳び、砲丸投げ) ・ダンス(創作ダンス)		<ul style="list-style-type: none"> ・規律と規範を守ることや、責任を持った行動など、集団生活の基礎について学習する。 ・知識と技能を相互に関連させて学習し、知識の重要性を学習する。 ・自己に適した技を高めて、演技することができる能力を身につける。 ・運動の基本となる走・投・跳の動きの基礎を学び、体の使い方や基礎体力を身につけます。 ・ダンスでは体力向上や表現力などを身につける。 ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを学ぶ。 		
2 学期	選択 B ・武道(柔道) ・球技(ゴール型、ネット型、ベースボール型の中から2種選択)		<ul style="list-style-type: none"> ・武道では体力向上や礼儀作法などを身につける。 ・集団競技では基礎知識や技術を学び、仲間と協力して試合を楽しむ態度を養う。 ・筋力や筋持久力を向上させ集団での行動力や仲間と協力して楽しむ態度を養う。 		
3 学期	体育理論 ・文化的特性や現代スポーツの特徴 特色種目 ・持久走		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたってスポーツと豊かにかかわっていく考え方を学習する。 ・持久走では心肺機能を中心とした基礎体力の向上を図り、個人目標を設定して達成感を味わう。 ・スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを学ぶ。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・体操服等の準備を忘れずにしてください(見学时も基本的には同様です)。 ・活動場所(体育館、グラウンド、武道場等)への集合を、時間厳守で行ってください。 ・授業を見学するときは、必ず事前に担当教員に申し出てください。(理由等) ・授業時の怪我防止(安全確保)のため、授業でのルールと指示をきちんと守ってください。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】保健体育・保健	単位数	1 単位	履修年次	1 年
目 標	・個人及び社会生活における健康や安全についての理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を身につける。				
使用教材	【教科書】 新高等保健体育（大修館） 【副教材】 新高等保健体育ノート（大修館）				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	個人生活及び社会生活における健康や安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身につけている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身につけている。		
評価方法	学習状況（授業態度・参加意識）等で、「思考・判断・表現」と「学びに向かう力・人間性等」を、定期考査や提出物（ノートやプリント）等で「知識・理解」と「思考・判断・表現」を評価し、それらを総合的に評価する。				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	<現代社会と健康> 健康の考え方 ・日本における健康課題の変遷 ・健康の考え方と成り立ち ・ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ・健康に関する意思決定や行動選択		・私たちが生きている現代社会の健康水準や健康のとらえ方について学習する。 ・さまざまな健康問題を正確にとらえ、適切に対処できる知識と態度を身につける。		
2 学期	健康の保持増進と病気の予防 ・現代における感染症の問題 ・感染症、性感染症、エイズの予防 ・生活習慣病の予防と回復 ・身体活動、運動、食事、休養、睡眠と健康 ・がんの予防と回復 ・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患への対応		・食事、休養や睡眠、飲酒、喫煙などと生活習慣の関係について学習する。 ・医薬品や薬物乱用について学習する。 ・生活習慣病や喫煙・飲酒・薬物乱用などの問題に対処できる知識と態度を身につける。 ・心の働きと健康とのかかわりや、ストレスへの対処、自己実現について学習する。 ・心の健康を保持増進するとともに、心と体の調和を保つために必要な知識と態度を身につける。		
3 学期	<安全な社会生活> 交通安全 ・事故の現状と発生要因 ・交通事故防止の取り組み ・安全な社会の形成 応急手当 ・応急手当の意義と救急医療体制 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当		・交通事故の現状を知るとともに、事故の原因と対策、交通社会で必要とされる資質と責任について学習する。 ・自分や他の人々の命や体を守り、思わぬ事故や災害に対応できる安全な社会環境をつくるために、応急手当の手順や方法を学び、適切な応急処置ができる力を身につける。		
学習上の留意点	・教科書、ワーク（ノート）を、忘れずに準備してください。 ・授業に積極的に参加し、ノートをしっかりと整理しましょう。（ノートは提出してもらいます）				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【選択必】芸術・音楽 I	単位数	2 単位	履修年次	1 年
目 標	・歌唱や楽器演奏、鑑賞などを通して、いろいろなジャンルの音楽にふれ、音楽を愛する心情を養うと共に、感性を豊かにし、創造的な表現と鑑賞の能力を身につける。				
使用教材	【教科書】音楽 I Tutti+ (教育出版) 【副教材】音楽通論 (教育芸術社)				
評価の観点 ・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための知識・技能を身に付けている。	感性を働かせて、音楽の諸要素を把握し、音楽の良さや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をする。	音楽を愛好し、音や音楽に関心を持ち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。		
評価方法	目標を踏まえ、音楽 I に対する「知識・技能」、「思考・判断・表現」については、具体的に、日々の授業や練習の成果、提出物、実技テスト、小テスト等をもとに総合的に判断し評価する。「主体的に学習に取り組む態度」については、日々の授業を中心に評価を行う。				
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			
1 学期	音楽理論	・簡単な楽譜が読める程度の、音名や音符を読解する力を身につける。			
	クラッピングアンサンブル	・他人と合わせながらリズム感を身につける。			
	校歌	・校歌の歌詞の意味を理解し、歌えるよう練習する。			
2 学期	音楽理論	・実際演奏するにあたって必要な基礎知識を身につける。			
	キーボード	・学習した音楽理論を用いて、実際に演奏する。			
	トーンチャイム				
3 学期	合唱	・合唱曲を 1 曲仕上げる。			
	鑑賞	・ミュージカル映画を鑑賞し、歌の歌い方や表現方法を学ぶ。			
	ギター	・タブ譜の読み方を理解し、曲を仕上げる。			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の準備物等が多くなりますが、忘れると授業への参加が困難になります。必要な物を忘れないようにしましょう。 ・実技の習熟には普通の授業中の練習が重要となります。遅刻や欠席をしないようにしましょう。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【選択必】芸術・美術 I	単位数	2 単位	履修年次	1 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題への取り組みを通して、ものを見るための感性を伸ばし、深く物事を観察する力や想像力を身につける。 ・的確にももの形や色を把握し表現する技術を習得し、創造的に表現することができる。 				
使用教材	【教科書】 高校生の美術 1 (日本文教出版)				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	課題作品の制作において、道具や材料の使用法や特性を理解し、工夫しながら、自分の表現を実現している。また、作品を鑑賞する態度と制作技法を理解し、自己作品と比較検討ができています。	課題のテーマに則した構成や色彩を思考・判断することができます。また、芸術的な感性により、課題作品のテーマやその表現方法で、各自の世界を構築しています。	課題作品のテーマに関心を持ち、テーマの内容を的確に把握し、美術的な創作活動に積極的に取り組もうとする。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出した作品の完成度(技術、対象物の理解度、発想力)を評価する。 ・授業に対する興味・関心や積極的な取り組み姿勢を評価する。 				
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			
1 学期	素描 平面構成	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサンやクロッキー、パステル画などを行い、基本的な描写力を身につける。 ・色彩調和の基本を学び、実践して配色の美しさを知ると共に、センスを養う。平塗りの技術を習得し、作品の完成度を高める。 			
2 学期	デザイン作品 立体作品	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターやマーク、工芸品などの意匠を考案することで、デザイン性と機能性について考える。 ・紙、木材、粘土など、立体に適した素材から形態を想像し、3次元的な構造を理解する。 			
3 学期	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルの作品を鑑賞する姿勢を身につけるとともに、自らの作品作りの参考とする。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品の完成度を追求するには、授業中の集中力が必要です。 ・制作に必要な道具や材料を事前に準備する計画性が必要です。 ・課題作品の提出期限を必ず守ってください。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【選択必】芸術・書道 I	単位数	2 単位	履修年次	1 年
目 標	・書道の幅広い活動を通じて、芸術を愛好する心情を養うとともに、感性を豊かにし創造的な表現と鑑賞の能力を身につける。				
使用教材	【教科書】書道 I (東京書籍) 【副教材】硬筆レッスン帳 (教育図書)				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	文字や書の歴史と文化について幅広く理解し、その価値を基にその表現の技術を身につけている。	創作的な書表現をするために、評価の定まった古典を臨書し豊かな発想に結びつけている。またその様子を言葉でも表現している。	書を愛好する心を持ち主体的に創作活動するために自己批評を繰り返し審美眼を高めようとしている。		
評価方法	目標を踏まえ、書道 I に対する「知識・技能」・「思考・判断・表現」・「主体的に学習に取り組む態度」については、日々の授業を中心に評価を行う。具体的には、「知識・技能」では提出作品を評価し、「思考・判断・表現」では毎回提出するプリントの緻密丁寧さを評価し、「主体的に学習に取り組む態度」ではどれだけ前向きに学習に取り組んでいるかを評価し判断する。				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	<p>書へのいざない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書に親しもう ・用具や用材を知ろう ・フォームを身につけよう <p>漢字の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に学ぼう (臨書について) ・楷書の古典に学ぼう (唐代の楷書) ・漢字の書の創作をしよう <p>ペン字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字形の基礎 		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの書写授業の認識をあらため、芸術書道に関する基礎的な知識を身につける。 ・書道学習の基礎となるべき臨書の方法を学ぶ。 ・現代の標準書体である楷書のルーツを探り、整った書風・個性豊かな書風を古典に学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペンの種類の違いによる書き具合を知る。 ・書く速度、筆圧を変える書き方を経験する。 ・客観的に整った字形に触れる。 		
2 学期	<p>漢字の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の始まりを知ろう (書体の変遷) ・印を刻ろう (篆刻について) ・行書の古典に学ぼう (蘭亭序) <p>ペン字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書の練習 		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の発生と、その変遷について学習する。 ・篆書を学び、その応用として雅印を作ることによって、刻す楽しみを知り、出来上がった印を作品に押印し、その効果を理解する。 ・行書の筆使いを学ぶとともに、古典の多様な表現を学ぶ。 ・行書の学習の成果として、画仙紙 8 分の 1 サイズに臨書作品を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・書く速度を変え、行書の字形に慣れる。 		
3 学期	<p>仮名の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名のはじまりを知ろう (仮名の成立) ・仮名の基本用筆を学ぼう (いろは歌・連綿) ・平安時代の古筆に学ぼう (変体仮名・墨継ぎ) ・散らし書きを学ぼう (紙面構成) ・仮名の書の創作をしよう (仮名色紙仕上げ) <p>漢字かな交じりの書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書きたい言葉を見つけよう ・暮らしに生きる書を探そう ・用具・用材の使い方を工夫しよう ・漢字仮名交じりの書作品を鑑賞しよう ・自分にあった表現を求めて書の創作をしよう <p>ペン字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用書の書き方 		<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の発生と日本の文字の歴史について学習する。 ・仮名の線の特徴を理解し、基礎的な技法を身につける。 ・仮名独特の表現技法を学び、日本の美意識を理解する。 ・全体構成を学び、余白の美を理解する。 ・仮名の表現技法を駆使して、料紙に作品をしあげることで、日本的な書的美を味わう。 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字や仮名の古典の学習で培った基礎のうえに、身のまわりの書からヒントを得て、用具用材によって出来る線質の変化を知り、工夫することによって、自分らしく表現する喜びを味わう。 ・創作作品を書くことで、文字を書くという表現手段を身につけ、生涯にわたり書に親しむ心を養う。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活の場面に応じた書式を学び、読みやすい表現について工夫する。 		
学習上の留意点	・ただ書くということではなく、古典の臨書においては、よく見て、理解して、心に感じて書くことが大切。意欲的かつ主体的に作品制作に取り組むこと。				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】外国語・英語コミュニケーション I	単位数	3 単位	履修年次	1 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文を読んだり聞いたりして理解できる。 ・ 英語の正確な綴りや発音、適切な抑揚を身に付け、簡単な文を書いたり話したりして表現できる。 ・ 積極的に、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 				
使用教材	<p>【教科書】Amity English Communication I (開隆堂)</p> <p>【副教材】英文法エッセンシャルノート (増進堂)、Listening Box Pre (啓林館)</p>				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	日常生活の身近な話題について、英語の学習を通じて言語そのものやそれを運用する技術をも身につけるとともに、その背景にある文化などを理解することができる。	日常生活の身近な話題について読んだり聞いたりした情報や自分の考えなど伝えたいことを英語で整理し、書いたり話したりやりとり・発表などを行うことができる。	他者とのコミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたり話したりすることに意欲的に取り組み、またそのための学習を積極的に進めることができる。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を通して相手の伝えたいことやその文化的背景などを理解できるか (知識・技能) ・ 英語を用いて自分の伝えたいことを表現できるか (思考・判断・表現) ・ 他者とのコミュニケーションや学習に積極的に取り組んでいるか (主体的に学習に取り組む態度) <p>以上3つの観点を、普段の授業・提出物、定期考査、各種テスト等で確認し総合的に評価する。</p>				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	GET READY 1 What' s up? GET READY 2 Japanese or English? GET READY 3 When is your birthday? GET READY 4 Dictionary Lesson 1 The beautiful scenery Lesson 2 My best friend Lesson 3 Love for dance		<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学での既習事項を整理・活用できるか確認する。やや平易な英文を黙読・音読・聞き取って内容を理解し、読み聞きした英文を活用して書いたり話したりできるように学習する。 ・ ALT との授業では主にアクティビティを通しての練習・学習活動を行う。 		
2 学期	Lesson 4 Endangered species Lesson 5 The history of chocolate Lesson 6 Our school Lesson 7 Serendipity		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期で学んだことをもとに英文を黙読・音読・聞き取って内容を理解し、読み聞きした英文を活用して書いたり話したりできるように学習する。 ・ ALT との授業では主にアクティビティを通しての練習・学習活動を行う。 		
3 学期	Lesson 8 Sapeurs Lesson 9 Special makeup effects Lesson 10 Clean water		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生きた英語により多く触れ、適切な発音・抑揚での読みを身につけ、音声の特徴を捉えて正確に聞き取ることができるよう学習する。また、読み聞きした英文を活用して、伝えたいことを英文で書いたり話したりすることができるように学習する。 ・ ALT との授業では主にアクティビティを通しての練習・学習活動を行う。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノートを整理するだけでなく、言語活動 (声に出して読む、ペアワーク、発表等) への積極的な取り組みが必要です。次年度に履修する英語コミュニケーションⅡの学習も踏まえ、「理解」とどまるのではなく、積極的な「表現」につなげていくように学習します。個人端末を通じてファイルを参照したり提出することなども必要になります。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】家庭・家庭基礎	単位数	2 単位	履修年次	1 年
目 標	<p>・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境について、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>・家庭生活や地域社会の中から課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>・よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>				
使用教材	【教科書】「家庭基礎 気づく力 築く未来」(実教出版)				
評価の観点・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価方法	<p>「知識・技能」は、考査・小テストの得点、実験・実習時の技能点を基に評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」は、ノート筆記、提出課題を基に評価する。</p> <p>「態度」は、毎時間の学習態度(自己評価・教員による評価)を基に評価する。</p>				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○自分らしい生き方と家族 ○子どもとかかわる ○高齢者とかかわる ○社会とかかわる 		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・家族、保育、高齢者福祉、社会福祉に関する基礎的な知識を身につける。 ・自らの家庭における課題や地域が抱える問題について考察し、課題を解決するための方法について提案し、実践する。 ・周囲の人々と協働して、現在や未来の生活を主体的に営もうとする態度を養う。 		
2 学期	<p>(夏休み)</p> <p>◆ホームプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食生活をつくる ○衣生活をつくる ○住生活をつくる <p>◆学校家庭クラブ活動</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・生活課題を発見し、PDCAサイクルを構築し、課題を解決しようとする力を身につける。 ・衣食住に関する基礎的な知識を身につける。 ・衣食住における課題について考察し、課題を解決するための方法について提案し、実践することができる。 ・持続可能な開発目標のうち、環境問題に着目し、資源の再活用とごみ削減に取り組む(例:エコバッグ製作)。 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○消費行動を考える ○経済的に自立する ○生活設計 		<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活・生活設計に関する基礎的な知識を身につけることができる。 ・現在の消費生活における課題や地域が抱える環境問題について考察し、課題を解決するための方法について提案し、実践することができる。 ・持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動しようとする態度を身につける。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・実習については、安全面と衛生面に十分留意して取り組むようにする。 ・実習教室の配当等により、学習順序が前後する場合がある。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	産業・産業技術基礎	単位数	2	単位	履修年次	1	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人として必要な職業意識や産業に関する基礎的な知識や技術を身につける。 ・各コースのガイダンスや基礎的な実習の体験を通して、自己の進路を決定するのに必要な能力と態度を身につける。 						
使用教材	【副教材】自作教材（産業技術基礎ノート、プリントなど）						
評価の観点 ・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	各産業および職業について知識を深めるとともに、その職業で必要とされる技能を身につけている。	各産業および職業について得た知識をもとに、自己の職業観について表現する力を身につけている。	産業のあらゆる分野について関心を持ち、与えられた課題に対して意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身につけている。				
評価方法	<p>目標を踏まえ、日々の授業態度、学習成果物等をもとに総合的に判断し評価します。具体的には、「主体的に学習に取り組む態度」については、日々の授業態度、「思考・判断・表現」については、レポート、「知識・技能」については、制作した作品やレポート等を中心に評価を行います。</p>						
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い					
1 学期	学習ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目的、実習体験やコース選択の意義方法などを理解する。 					
	職業と生活	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学科に関連する産業や職業と、生活との関係についての理解を深める。 ・学科からの紹介の振り返りを行うとともに、進路について研究し自分の将来を考える。 					
	進路と自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ・各コースの学習内容やそれぞれのコースに関連する産業への理解を深める。 ・将来の生き方や進路、現在の学習との関連について考える。 ・各コースの基本的な学習内容を体験し、その内容を理解するとともに、自分の適性を考える。 ・コース体験の振り返りと、自分の将来について考え、2学期からの専攻について考える。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな分野の学習を通して、自己の適性や進路について考える機会としましょう。 ・各分野の基礎知識や技術を2学期からの各コース等での学習につなげる意識を持ちましょう。 ・日々の授業に対する取り組みを大切に、与えられた課題は期限を守り必ず提出しましょう。 ・移動教室や更衣が必要な場合があります。各自で予定表を確認しましょう。 						